



畧譜

十五

伊澤 井澤 石渡 岩間

稻富 板花 石友 井出

二百一十卷

環十五

内閣文庫			
五	三	和	
六	六	書	
九	二		
架	冊	號	類
五十一			



内閣文庫			
番號	和	36088	
冊數	211 (15)		
函號	156	17	

六十一

畧譜

十五

伊澤 井澤 石渡 岩間

稻富 板花 石友 井山

出井 岩波

二百一冊内

現十五

庫	文	閣	内
五	三		和
九	三		書
架	冊	壁	類

五十一

890

内閣文庫	
番號	和 36088
冊數	211 (15)
函號	156 17

五十一

津村物

上原美濃郡桑田村百
七拾五石二斗余小高村
百八拾五石九斗長柳郡
石原村百口拾七石四斗余
相模国大田郡大神村
二百三拾石中法王葛飾郡
前守海村百口拾七石余

少後之由事 今按如之統令
知行者也

寛永二
九月二日 津村

伊豆集人

○寛永九年甲午二月廿一日

上原美濃郡桑田村百

○同十年丙午六月廿七日

○同十年丙午六月廿七日

寛永八年三月三日
伊豆集人

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

年六月廿一日病死...
年六月廿一日病死...
年六月廿一日病死...

改次 伊次...
改次 伊次...
改次 伊次...

寛永十二年...
寛永十二年...
寛永十二年...

月十八日...
月十八日...
月十八日...

年四月...
年四月...
年四月...

年四月...
年四月...
年四月...

年四月...
年四月...
年四月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

寛永十二年七月...
寛永十二年七月...
寛永十二年七月...

伊波播磨守 初春之儀

政久

母 三行公位子身惠女

妻 大之御舞之元子忠臣女

寛文九年閏年二月七日功白 津目丸〇延

寶二年閏年七月十一日家督分令〇日六

戊午年二月市谷丸香天利一壬戌年十二月

二月廿九日〇^{元禄元}貞享元年六月廿九日^{元九}書後告

紀元〇^{元禄元}元禄元年二月廿九日布衣〇日

七年戌年二月十九日新中書次〇日年七月廿日

日光御中 〇日年十月廿九日左後定書

引渡用書二月廿九日西八月廿九年正月廿日

歸府法知不意一取之在元禄元江分以信

四月廿九日在元禄元〇日十一年七月廿日

来山尾兼子儀中野國陸羽守郡陸羽郡

那須郡二月廿九日地官門智級令子三子

元禄七年三月廿九日... 新中書次... 紀元〇... 日光御中... 引渡用書... 歸府法知... 四月廿九日... 来山尾兼子... 那須郡...

正徳二年八月十八日... 江戸幕府... 御用... 御用... 御用...

正徳二年八月十八日... 江戸幕府... 御用... 御用... 御用...

正徳二年八月十八日... 江戸幕府... 御用... 御用... 御用...

二百六拾遺名〇同十二卯年七月十日日光

分使所〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

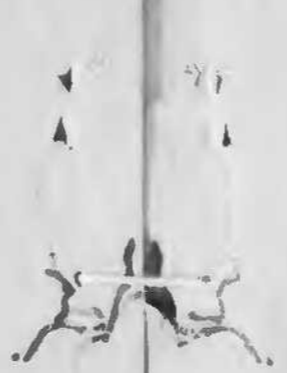
〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年



〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

〇同十六金糸年

東 伊豆内紀 子世

某

伊波佐助

子世

實ハ正刑部高階之正男也

伊波佐助

伊波佐水

佐部

改

宣保七年二月五日

女子

仙石丹波守久由之妻

方貞

媽孫

女子

伊波佐水

政國之妻

方貞

伊波佐水

妻水

宣保七年二月十日

宣保七年二月五日

宣保七年七月

宣保元年

宣保元年

月

素

縁江川九少延商身村古家お朝の月天
以八戌戌年二月五日於上徳園東陽院
素田村石女身守子子子成親家仕南
町中野金於候郡平井村大台宗蓮
宗院之在也

正貞

右之助 勘右

在房勘右の正貞の妻

月

五年二月五日苗字お朝

伊予守守子

中

伊予守守子

女子

日 岩山守子

月

女子 坂田守子 後藤守子

改

伊予守守子 水 母 守子 氏 守子 伊予守守子

女子 坂田守子

方

伊予守守子

女子 坂田守子

女子

白

坂田守子 伊予守守子 守子 氏 守子 伊予守守子

[Faint, mostly illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

源姓

十次

計三行分注為示
面抄抄物全一十八

先祖并次次次之次為池之次之次之
如右在續紀傳以那那那那那那那那

高五百俵
家收是備八八層
九十二雁定

為求

海思多信

高保七之次九月長紀傳分江戶紀傳
原抄如左志回十月分江戶紀傳
江戶紀傳新田場分分分 作有以水

抄

[Handwritten marks and characters at the top left of the page]

Handwritten characters at the top right of the right page.

Faint, mostly illegible handwritten text within a rectangular frame on the right page.

Handwritten characters in the center gutter area.

源姓
井沃

高五百俵
家收是備八八層
九十二層

先祖井沃海之末為池之
名在後世以那
名在後世以那

高永

陸奥

享保七年九月
原野長末
江戶水新田

Handwritten characters at the top left of the left page.

野和泉寺殿、作後白根下夜梅原の回
 八卯六月海府。回七月八日山出如之、
 方百五廿百俵の回廿一日移相目方
 清目人の回八月七日分所用総見版派小浪新中
 鬼怒門吉田新井筋又分回九月海府
十三日分所川流。多後所用
 の回十月上方に如之流長録上石境
 大池也水除流門筋所、是善徳後
 付員可、水換早換の取の善徳後
 善徳京新田山書信如立信、是金三

松福時後二俵の回丁巳十月廿六日
 中切定吟味後格和信三白俵の回
 十月十八日布衣の回丁巳亥二月廿六日
 山後科三白俵の回丁巳二月廿六日甲辰
 信員同三月十日換取の金三夜時後三頭行
 相成の回丁巳二月廿六日南分房徳
 代取兼一勸名の元文二年九月月尊
 病氣身房徳代免職の回丁巳
 丁巳九月病氣身命の回丁巳二月朔日

同七年八月五日遊歴回
 一書法止用
 同七年五月十三日遊歴
 同七年八月七日定免場
 同七年四月十九日右井川遊
 同七年九月八日甲斐國遊歴
 大正四年三月廿九日同九年九月
 十三日甲斐、石野川遊

元文元年二月二十六日
大井河川
延享元年十二月
元文元年十月
元文元年九月
元文元年八月
元文元年七月
元文元年六月
元文元年五月
元文元年四月
元文元年三月
元文元年二月
元文元年一月

母二丹法女

心房

延享元年

初稿

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日
延享元年十二月十九日

めくれず

心身

十一

安永二己六... 天明二年

工月... 天明二年

妻... 女...

心身

海... 補...

夫... 中...

小林... 男...

月... 百...

天明... 三月... 天明二年

日記... 天明二年

日記... 天明二年

妻... 中...

心身

長...

心身

妻...

心身

妻...



子武百後

家改 芳芳
九三三門 九三三門

抄

清原姓

石渡

此石渡姓其後亦氏ノ一ノ支也在石渡五ノ浦ノ
清原姓ノ一ノ支也

石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡

石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡 石渡

舍人親王石渡氏末孫胤

石渡氏之清元房嫡男

石渡氏之清元房嫡男

元次

母 不知

元和元年於攝津大坂城切之

元治元年三月廿七日
大敵は極大に清軍を打ち破り、寛永二年四月
二月十日自病死に控、威大に傳守に遺す

元治

石渡江師之儀

長次郎

母 不知其

素 東國に往りて其女を娶りて

寛永二十二年十一月廿七日 清目見

叶十三歳

元治元年三月廿七日
大敵は極大に清軍を打ち破り、寛永二年四月

元禄二年十二月廿七日
元禄八年乙亥年二月廿七日
十二月廿七日
元禄九年乙亥年二月廿七日

元禄九年乙亥年二月廿七日
大敵は極大に清軍を打ち破り、寛永二年四月

元禄九年乙亥年二月廿七日
大敵は極大に清軍を打ち破り、寛永二年四月

元興 石渡長常

母 石渡長常之妻

妻 石渡長常之妻

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

石渡長常之妻

石渡長常

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

石渡長常

元興

石渡長常

母 石渡長常之妻

妻 石渡長常之妻

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

元興 石渡長常 十一月廿七日 初生

祐矩

作東三子

寛永二酉戌年二月廿七日申人

作東平治政子

女子少子

稲田在物

安都

口身

享保七壬寅年十二月九日巳時

稲田在古名門叙集卷子

元之

石渡十之出

小善信通南宮命為慶用名子石成山後

病身有在子辰

某

石渡若治郎 早世

某

石渡之郎 早世

女子

乾

刑部

女子

山

山

女子 早世

女子

山

山

女子

山

山

山人早世

某

石濱多門 早世

元高

石濱少部

母 堀田平兵衛重直女

素姓流石濱氏乃婿女

元文元年三月十一日。石濱少部。室曆十二年九月廿六日。大正六年。新報。女子。徳政。成。止。録。物。

百保〇四和子。其年二月十一日。百保。成。網。戸。〇

同。其。年。月。日。中。姓。氏。〇。安。永。二。年。〇

里。月。日。父。病。死。任。父。子。同。子。子。家。事。〇

其。年。〇。安。永。二。年。〇。月。日。父。病。死。〇

其。年。〇。安。永。二。年。〇。月。日。父。病。死。〇

其。年。〇。安。永。二。年。〇。月。日。父。病。死。〇

某

石濱重直 早世

其

石濱信之丞

元貞

石濱信之丞

元貞二年六月十日病歿

元教

美濃守石濱信之丞

元教

石濱信之丞

元教

加藤氏

元教

石濱信之丞

元教

元教二年六月十日病歿

元教二年七月十日病歿

元教二年七月十日病歿

石渡

石渡素の母... 勝次 他月 山内... 石渡素の母の事... 石渡素の母の事... 石渡素の母の事...

勝次

勝次の母... 石渡素の母の事... 石渡素の母の事... 石渡素の母の事...

家改

九子結綿

家改の事... 九子結綿の事... 九子結綿の事... 九子結綿の事...

家

家改の事... 九子結綿の事... 九子結綿の事... 九子結綿の事...

校

友新

石渡

履唐の事

高百の指渡

家改

九子鬼島
たふ打打透

末

文休二年... 九子本病丸

之文

信

夏長十九日
 大敵...
 後...
 石...
 長石...
 漢...
 昇...

死
 本...

之文

末
 之文...
 公...

此稿内...
 由...
 之...

元禄元年正月... 元禄元年... 元禄元年...

元禄

元

元禄二年... 元禄二年... 元禄二年...

元禄

元

元禄七年... 元禄七年... 元禄七年...

元禄

元禄九年... 元禄九年... 元禄九年...

寛延三年八月廿日
 慶永百子法
 事の長は四女本不實切、小窓居
 二年九月廿日百病死、卒、年未詳。

女子田舎の家の長女、母は信濃、父は定時、母

百子

心奉

妻は太田又三郎定信の御

同大の元月廿日

寛永二、三年三月、小窓居、卒、同日

九月、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

儀知 授子助

寛永 初又百子

心奉

母は信濃、女、妻は太田、母は信濃、父は定時、母

寛永九年、三月、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

女、永、存、年、十、三、日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

同八年、三月、十四日、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

同、年、同、日、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

同、月、同、日、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日、卒、同日

百子百子給後

女子

白武

山内氏 母房前女 妻 山内氏 上津守 右衛門 義経 女
寛政十一年二月十三日 初見 世三十二歳

女子

抄暗

富子 山内氏 上津守 右衛門 義経 女

正色

富子

奉

奉

正色

山内氏 上津守 右衛門 義経 女
寛政十一年二月十三日 初見 世三十二歳



抄

有京姓

若間

忠回將監

正色 勝

山内氏 上津守 右衛門 義経 女

素子

武田氏 上津守 右衛門 義経 女

同 年 上 月 在 山 内 氏 上 津 守 右 衛 門 義 経 女
檢 視 極 上 右 衛 門 義 経 女 書 卷 第 四 百 五 十 二 卷

山内氏 上津守 右衛門 義経 女

三百八

致 九 月 左 右 宣 公 夫 之 厨
宣 承 永 國 瀧 矢

嘉慶元年四月廿五日
晴
嘉慶元年八月廿五日
晴
嘉慶元年十一月廿五日
晴
嘉慶元年十二月廿五日
晴
嘉慶元年正月廿五日
晴
嘉慶元年二月廿五日
晴
嘉慶元年三月廿五日
晴
嘉慶元年四月廿五日
晴
嘉慶元年五月廿五日
晴
嘉慶元年六月廿五日
晴
嘉慶元年七月廿五日
晴
嘉慶元年八月廿五日
晴
嘉慶元年九月廿五日
晴
嘉慶元年十月廿五日
晴
嘉慶元年十一月廿五日
晴
嘉慶元年十二月廿五日
晴

時直

嘉慶元年四月廿五日

味長

松沢橋

嘉慶元年四月廿五日

松沢橋

三森

嘉慶元年四月廿五日

味長

松沢橋

嘉慶元年四月廿五日

嘉慶元年四月廿五日

病死九條七年壬午二月四日没 法名玄宗

正平

忠貞源之節

忠孝之人所正睦之祖

廣安口辛卯年卯辰之九月廿六日

津田公俊山北地地家信在別

如

田代庄信山法喜

来

母法喜

吾法所 万治三年三月廿一日 法喜 廣安口 宣文二年六月廿二日 法喜

正則

母牛之三子馬信之女

法喜 妻由山北地家信之女

延享二年丁酉月廿七日 初是日

自享元甲子年九月廿九日 初是日 大田吉田

切米此百信之元孫六壬申年七月廿九日 病死

小善信之正徳元辛卯年七月廿九日 病死

心切米此百信之元孫六壬申年七月廿九日 病死

古より法信之元孫六壬申年七月廿九日 病死

兼同守 法信在祈真

女子文

法喜 廣安口 宣文二年六月廿二日 法喜

七分功之信利福妻

女子 逸見源之清義殿妻

正續

若間家正續

母 幸由少江守康女

妻 堀河守康正續女

享保六年正月二十日家智少曹后○月

七月廿五日大正書○昭和二年

八月廿日老兒少曹后全取取○月

安永元

年二月二十日病死八拾二歳以守妻

享保六年分

正續

女子 逸見源之清義殿妻

若間家正續

正續

母 家女

享保六年

妻 堀河守康正續女

寛保二五年正月十日清目見○昭和

享保七年

女子三人
平江府 徳島縣 徳島市 徳島市 徳島市
長門縣 徳島縣 徳島縣 徳島縣 徳島縣
三人共好

正名 徳三郎

女五

正名 徳三郎

校

後系姓

岩間

高三百餘

紋 九左り三本矢

岩間九郎左衛門

正名

母 徳三郎

大猷院極只代大守番○寛永七年八月廿二日
病死年六十一歳 徳島縣 徳島市

正勝

忠孝公家

正平

忠貞公家

忠貞公家

母

忠貞公家

慶安元年三月廿三日

津田屋中住人

○天和元年四月廿九日

○天和元年四月廿九日

○天和元年四月廿九日

正正

忠貞公家

母

忠貞公家

○天和元年四月廿九日

○天和元年四月廿九日

○天和元年四月廿九日

忠貞公家

午年六月八日病死に給ふ是日奇く疾

女子 實は塚本氏に在りて永く女子直に養ひ

出乃乃之命

正光

母 梅本氏 孫多子 孫女

書 13年午年次 孫多子 孫女

元文三年九月 孫多子 孫女 延享元年 七月五日

二月病死に給ふ是日奇く疾に給ふ

二月病死に給ふ是日奇く疾に給ふ

出乃乃之命 出乃乃之命

正睦

母 松平氏 孫多子 孫女

妻 出乃乃

出乃乃

延享元年九月 孫多子 孫女 安永

六月年 孫多子 孫女 寛政八年

十二月十日西九附

以竹筒埋藏
其墓所深收る由
其墓所深收る由

正勝

天保七年七月廿七日

正勝 天保七年九月廿七日

政七年八月廿七日

三十一
其山本寺より三絶三男

正彭

其山本寺より三絶三男

天保七年二月二十七日



按

源姓

岩間

百俵少人持

致 九月三日
九月三日 授

書内納失少人祖未詳 岩間正勝

源正勝男

其計么位和源氏
信多支勝主甲斐國に
住一岩間と稱し
流年春三月二十日
未の是流す事

勝正

清五丈

天保七年四月廿七日

天保七年四月廿七日

天保七年四月廿七日

天保七年四月廿七日

清佐

法皇史 御在御

元安元年即年^{三十一} 御在御 二月四日辰時崩御 元安元年

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

清和

御在御

元安元年即年^{三十一} 御在御 二月四日辰時崩御 元安元年

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

清成

御在御

元安元年即年^{三十一} 御在御 二月四日辰時崩御 元安元年

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

同日辰時崩御 元安元年 二月四日辰時崩御

清房

御在御

元安元年即年^{三十一} 御在御 二月四日辰時崩御 元安元年

享保九年六月七日

日十七年六月

享保十年六月九日

享保十一年六月廿二日

勝秀

江崎

初代

享保九年六月廿二日

享保十一年六月廿二日

享保十二年六月廿二日

享保十三年六月廿二日

勝胤

母長女

享保十四年六月廿二日

勝隆

以花

勝益

然平

女子

女子



抄

平氏
稻富
山田

高二百俵
致九百俵
稻乃九十五枚也

丹後國美作郡之稻富在種与直耐
子子玄蕃以虫秀口婿子任以与直家
中流河与直是之子与直是直婿子

稻富与直 功与直

直賢

母 稻富与直之妻
直賢
直賢之妻

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

元和庚申年三月九日
於信國朝の二百拾石
○西之活 日走少社系
寛永二十年壬午年正月
湯田川白鳥集系入
翔訓法地とん之撃
所撃為於 河系名卷法
西費同出少し 大有十
作月○月二酉年二月
麻有

上平の河原系并系
名係之知 子柳法
○同年七月
同公之平人
公有名係
二次打為
年八月
節大筒道
所

彙

右當流法紀(後)之傳(末)在(新)次(第)之(人)
渡唐(一)法紀(一)傳(一)一(第)好(之)也
事(末)世(之)紀(事)一(一)一(第)福(高)相(獲)也
卒(直)内(是)之(傳)乃(一)一(第)唐(帝)以(命)之(好)
國(是)末(之)紀(傳)一(一)一(第)好(之)法(紀)を
召(請)之(一)傳(一)一(一)一(第)之(書)と(好)り
直(時)是(之)紀(傳)一(一)一(第)直(時)好(之)書(以)
直(時)一(一)一(第)直(時)一(一)一(第)一(一)一(第)一(一)一(第)一(一)一(第)

嫡子(伊)之(書)と(好)り(直)家(末)を(以)少(年)と(る)と(其)
法(紀)と(好)規(公)之(信)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
傳(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)又(一)一(第)傳(一)傳(書)と(好)り
直(時)お(た)り(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)一(一)一(第)一(一)一(第)
直(時)下(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)
直(時)十(一)傳(書)と(好)り(直)家(末)一(一)一(第)直(時)法(紀)法(紀)

うろくは法華の多し終に秘術と稱く一
愛の科千巻の書と傳へたは後名法
稲富の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華

作の書と傳へたは秘術と稱く一
愛の科千巻の書と傳へたは後名法
稲富の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華

後法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは

法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは

法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは

法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは
法華の書と傳へたは正五福子の書と傳へたは

上法中道... 玉受人家... 清河坊...

玉之

福富市... 限在春...

父... 玉受人家... 清河坊...

玉之

玉良

直富市... 玉受人家...

玉之

玉之

母方... 玉受人家...

某

玉受人家...

寛文... 玉受人家...

直房

母方... 玉受人家...

玉之

寛文... 玉受人家...

嘉吉四年八月○安文七丁未年十一月廿七日
 日九乙酉年十二月廿五日切未二百俵○
 元金乙酉年二月廿七日病死小曾孫○
 乙酉年四月廿日病死○
 孝子 神名子七郎 正信妻
牛也抄原

正廣
 福富勤古郎
正廣勤古郎

吾母
 安每念知古郎正廣子孫女

喜 信實八郎正信妻
信實八郎

室永六乙酉年六月廿七日
 法○室保三乙酉年二月廿六日
 乙酉年十一月七日病死
法名宗造

直喜 福富勤古郎 正信妻
 母 信實八郎正信妻
 孝子 松井行中
孝子同之在古郎妻元女

松原寺之
 宣原五年三月
 十六日休元男
 和正寺之
 喜正寺之
 再行寺之
 正心寺之
 正心寺之

享保十一年庚戌年十二月廿七日家督少吉没○
 延享元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年十二月廿七日家督少吉没○

孝文 右 原信八 正平 妻
 由田年十而具心妻

直雄 二 直雄 妻
 直雄 妻

直忠 六 直忠 妻
 直忠 妻

直恒 稻富市郎 安太郎

母 直恒 妻
 直恒 妻

享保元年壬子年九月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年九月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年九月廿七日家督少吉没○
 享保元年壬子年九月廿七日家督少吉没○

女子 川西仲次郎 兼秀 妻

直頼

直三郎

直憑

徳太郎

母公直芳女

直香

辨之助

直哉

之膳

女不



八

抄

直太郎

直太郎

七百五十八

福高

母直太郎母之福高作記号と直太郎

是乃福高之氏之信

直次

福高之月

母直次

直次 右田監物直次女

直次福高代渡河之唐長十一年庚午年 月 日

之知... 九甲... 元和... 地方

地方

大徳院極楽寺... 〇元...

〇元... 〇元...

〇元... 〇元...

〇元... 〇元...

〇元... 〇元...

十美園年十二月... 〇元...

〇元... 〇元...

〇元... 〇元...

〇元... 〇元...

稲富... 〇元...

重名... 〇元...

宣明... 〇元...

〇元... 〇元...

梅屋吉右衛門
丹波守
...

梅屋吉右衛門
丹波守
...

孝行
...

二月五日病死
...

重賞
...

...

...

...

...

...

...

...

直
...

...

...

唐臨之書畫
家子合以私書
相送

貞觀元年九月廿九日
元海一書國年十二月廿五日
年八月廿五日
均書〇月廿五日
庚寅年六月廿五日
年二月廿五日
夕改〇元文大庚申年八月廿五日
日等〇元文大庚申年八月廿五日

女子 高橋年巳部 江陽年女

直彌 稻富或部

母 家女

女 妻

享保十九甲寅年六月廿五日
日三月廿五日
均書〇月廿五日
夕改〇元文大庚申年八月廿五日
病死〇元文大庚申年八月廿五日

五字

福富一子

兄直時長子

孝子元

直時長子
元直時長子

直時長子
元直時長子

直時長子
元直時長子

直時長子
元直時長子

直時

直時

直時

元文二十七年七月...
年四月九日...
元文二十七年十月...
甲戌年三月...
四月...
奇...
直福

直福

直福
功...

母 綾女

妻 志心 別 音 綾

室曆九巳卯年七月廿九日家移小倉音信○安永

九年八月廿六日○安永九辰子年

八月廿九日○安永九辰子年

女子 遠山又曰席 則 幸 妻 注 録 列

直 賢

稻富茂之節

言七百五十八石

母 別 音 綾

妻 志心 遠 有 大 之 妻 幸 妻

而水九辰子年六月廿九日家移小倉音信○安永八月廿九日

女子 志心 又曰席 則 幸 妻

女子 志目 當 三 席 松 成 妻

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "貞時" and "貞秀".

表

しつと田を種人丹後國
子洲松尾の御子と云ふ
指の事ありしと云ふ事
年七十一は花也

貞時

相模守
尾木乃城白丸復一室
御に侍る事年五十八年
六十三

年性

福富の氏山田

世流流 氏山丹後國者御御孫木

誠山田之系始々福富と改て子也

換て東府嫡子

玄蕃次

玄蕃元

貞秀
玄元

今の皇曆玄蕃由直元也
尾木乃城と云ふ事年五十八年
六十三

夏曆庚申年
 丙寅の國本有夜連成。同七年
 甲辰の國本有夜連成。同七年
 早八葉約の松原の葉 法在

私史

正續

乙未の國本有夜連成。同九年
 交州の國本有夜連成。同九年
 牛馬の國本有夜連成。同九年

正續
 乙未の國本有夜連成

集書 續書 續書 續書
 乙未の國本有夜連成。同九年
 交州の國本有夜連成。同九年
 牛馬の國本有夜連成。同九年

二百之の加恩ありとの付
唐末と米地ありとの
らと持洋回米成候の月
九福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日
元福十二年二月廿一日

直良
在八月
宣之永系圖に表之
出良と死しと直
常以下と

直良

元保十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日

直市

同元年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日
保元十二年二月廿一日

直市

宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日

直市

宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日
宣保十二年二月廿一日

臣奉

奉次郎

明治廿九年十二月廿九日
同日奉

三ノリ
小巻
坊
三ノリ

臣奉

奉次郎

同日奉

明治廿九年九月廿九日
同日奉

後



源姓

松花

之利松長等全福田在馬基

松花換授

臣奉

母
奉次郎

明治廿九年十一月廿九日
同日奉

臣奉

明治廿九年十一月廿九日
同日奉

女子 若子昌為妻

め子の若子有るは若子昌也
又官田伊左衛門宗利也

昌興 板記友之丞

若母没又三津一女

若母之丞

若母

享保十八年十二月一日家督少若信○寛

保元二年十二月一日母大若○寛延元年

正月七日病没年少若信○寛延元年

昌親

若母之丞

若母 若母没又三津一女

若母 若母之丞

寛延元年

享保十八年十二月一日家督少若信○寛延元年

保元二年十二月一日母大若○寛延元年

正月七日病没年少若信○寛延元年

寛延元年十二月一日

乙卯年六月廿五日辰時

昌義 板花河船 初之院

母 永升之帝女 法皇女

書 中源之帝女 正女

有身

天保六年四月八日家督小吉河内

戊申年六月十日百大栗吉、定延十二年三月

昌茂 板花河船之孫

昌嗣 板花河

昌嗣 幸乃之孫

昌嗣 幸乃之孫

昌嗣 幸乃之孫

俊



日下部姓

石集

及 今席乃孫

孝德天皇 皇太子 表米 皇孫 日下部

姓 十六代 法流 皇孫 表米 皇孫 日下部

皇孫 表米 皇孫 表米 皇孫 日下部

皇孫 表米 皇孫 表米 皇孫 日下部

皇孫 表米 皇孫 表米 皇孫 日下部

玄徳 臣下

石来 臣下

玄徳 臣下

養子

石来 臣下

石来 臣下

石来 臣下

玄徳 臣下

石来 臣下

母 小泉 勘 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

徳院 石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

天樹 石来 臣下 石来 臣下

玄徳 臣下 石来 臣下

玄徳 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

石来 臣下 石来 臣下

義胤 石集仍全節

母は清和女
元禄十一年九月廿七日
病歿
約也人等守 墓所 法善寺

政房

母は清和女
元禄十一年九月廿七日
病歿
約也人等守 墓所 法善寺

二 望遠山房

のこ 望遠山房
元禄十一年九月廿七日
病歿

命房

元禄十一年九月廿七日
病歿

母 清和女

妻 家女

元禄十一年九月廿七日
病歿
約也人等守 墓所 法善寺

陳

義陳 西長又吉

年月日... 某年某月某日

陳

女子

河野松尾法中通房妻

傳文

石集之

義

家女

家女

年月日... 某年某月某日

年月日... 某年某月某日

年月日... 某年某月某日

景品

石集之

表母之

冥母之 冥母之 冥母之 冥母之

妻 冥母之 冥母之 冥母之

享保十三年十一月九日家督山崎信隆○十五
唐平年六月九日山崎人信○享保十三年
四月二十日山崎人信○享保十三年六月
廿九日病死山崎人信○享保十三年

二 山崎信隆

美以 山崎信隆 山崎信隆

母 竹山信隆 山崎信隆

妻 山崎信隆 山崎信隆

山崎信隆

寶曆己卯歲年十一月十日 清月見○月大
乙亥年九月十日家督山崎信隆○享保十三年
年閏九月十日山崎人信○享保十三年
月日光 清月見○月大

如子之 山崎信隆 山崎信隆

山崎信隆 山崎信隆 山崎信隆

二百病死只推九歲之用法瑞奇之券

改

并出半之信 印行帝百三帝 津仰 區區

母 大丹形石馬 改景女

本 丹形石馬 改景女

天和三年十二月奉
命且父三帝并衛侯
德實勤勞為御寮
美黃金十四兩
御藏詰極末二十
依并領

天和三年十二月奉
命且父三帝并衛侯
德實勤勞為御寮
美黃金十四兩
御藏詰極末二十
依并領

院建之土地之有之代比而示之
令之格每下十元福之至自年七月
之間自〇月年一月之百道者
之次者自〇月年一月之百道者
詳聞 津形石馬 易記 津形石馬
押封之系之七卦之改景順德江
其旨形功之備治陽貨篇備
備勤之旨度之備之〇月十月七日

天十七日
一書まゝに格と 儀
二月

心
右分法永也

天十七日
二月十日

甚分

河内海山権文學

石年法海すも也
天十七年
二月十九
心
甚分

古往流福沖直筆用書号致通以載今
新巧江

右德院祿四月書寫

孝之誠為孝侯
能親初來後息
之到之委細意心
常庶分可也

九月廿日 秀忠 筆

并初是印

乃為侯一禮

初年即之入意

流為也

十月廿八日 秀忠 筆

并初是印

正勝

井上之吉

文祿元年壬辰年八月廿七日
七月廿四日 龍休日 病死

正俊

井上之吉

門下之吉

正信

井上之吉

慶長十一年八月廿七日 病死

正則

井上之吉

文祿元年八月廿七日 病死
八月廿七日 病死

正心

井上之吉

文祿元年八月廿七日 病死

清子以んせしるふ海也
河内件
榮長十石酒

ふりまき

か子

河内京字

伴豆圃君海部
太北村一百石
三石七斗玉川
三石九石四斗

石三村石三石
長伏村三石七斗九
斗除合三石石事
令援助之記全之
知りま也

寛永二

二月七日

井上某

某 井出好盛

尾形右衛門

次行 無澤七左衛門

正貞 井出好盛

山崎玄三郎

正良 井出好盛

大敵院極楽代廣安之廣安元年九月二日

正貞之弟正良

七月九日病死

次忠 井出好盛

正貞之弟正忠

某 無澤七左衛門

山崎玄三郎

正陳

井も是の爲 初世物

母 藤澤甚三信田の女

妻 田口勘之助正廣の女

正妻 太人保形花也の女

寛永八年壬申年八月の事

右徳川頼朝の御目見の御本二萬子年十二月

廿七日の書置若の御十八年七月家督の

元禄二年戊寅年九月十日七拾九歳に病死

内奇之妻

正謀 井も仁江の

慶安四年辛卯年十月廿日北向

江揚屋保正は乃附平書置若の宗正位

井も仁江の御目見の御本二萬子年九月十日七拾九歳に病死

孝之入 池田三郎三郎の女

根来源左衛門某妻

正府

井口江門 功甚仰 德在公

母 田口勘多場正廣女

妻 川村権七正女

寛文十庚戌年九月日 清貞自〇元極之
成富三年十二月十八日 家督中書信〇日之
年二月廿日 山書院書〇正徳六年
有五月病免山書院〇享保十巳酉年

七月八日 隱居〇正享元年甲子年 八月十二日
八拾二歳之病死 同守正妻

孝子 大之保 立正 忠正 集
約念新十席 守正 改妻

某

御内御外
正府
正府
井口正府 功甚仰

寛永七富年二月九日 孝子正保 正保正保
正徳二年十月日 自家正保 孝子正保 正保

江戸後通方々金平紙多し
通塞同年九月五日

君の...
...
...

井...
...

四原

若海川村七十一名女

実每家女

妻若海又正府女

正徳二年二月九日...
十...
...

十六...
...

七月九日...
...

其百...
...

六...
...

女子
若海子正海妻

若女
...

井...
...

若女
...

実母康去後田和官
丹方春之郎

秋田

寛保二年戊午八月廿七日
年二月十八日
女子

心芳

右の如く
并方甚九郎
初渡江織部之郎

長母丹方心芳女

長母丹方心芳女

妻長父心居女

後妻高江在信基居女

延享二年卯年六月廿百
女子

享保二年六月廿百
女子

享保二年七月廿百
女子

享保二年七月廿百
女子

妙宗因守

女子 長子心芳妻

女子

小善信
如安信命其女名難別
井初生七年三月相若女

女子

小善信
如安信命其女名難別
井初生七年三月相若女

女子

小善信
如安信命其女名難別
井初生七年三月相若女

每 家女

妻 長又西女子

元和七年戊午十二月十日^年女子○同年十月
八日家智小善信○同八月九年十月九日書
院書○天河七丁未年七月九日病死○九

歲日守 三善

長子西女子妻

女子

長子西女子妻
長子西女子妻
長子西女子妻

井原氏

高直

正英

母并志九帝正英女

正英

高直

天正七年十一月...



藤原姓

正氏之孫

并書

大藏卿...

乃實...

并...

正直

并...

母乙種氏女

妻無津氏女

今川義元氏之幕府に或は威威に
場家并に義元正英方市村水保十二巳年
月々之知政良大官城指筆電我死

正次 井も志摩子 甚物 九節 甚師

天正十三年八月の如く
駿河の如く代而政良正英方市村水保十二巳年
常山家當時の如く甚物九節甚師

正勝 井も志摩子

母 貞津氏女

妻 不知

文祿元年 三月 八月 不知

隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正

隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正

地 不知

正俊 井も志摩子

隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正 隆正

尚時口書後集卷之五

正名

并前之正名

母

妻源色之妻若井女

慶長八亥卯年八月之廿 御國見〇四月

庚戌年八月之廿 大書〇月十九甲寅年元如

元之卯年大改由御陣出法〇寛永十二酉子

年二月十九日病死之病之歳其地之知

正唯

并前之正名

母 源色之妻若井女

妻竹月源色之妻

寛永十二酉子年 十月廿九日 家督山崎守清〇月十

七日 年八月之廿九日 大書〇慶安元戌子年

八月廿九日 新書之條法也〇天和元 年酉年

有十八日病死七拾七歳九心淨也守身

正俊

并古七歳也

年月々々不知其年人之後山内
方利里者山内之孫也其父孫也
八月十日病死并古七歳九心淨也
同里者山内之孫也其父孫也
子細之也

正貞

并古七歳也

母竹内深也其妻女

妻石村也其妻女

正貞之也其年一二月九日大書也其年
正和元年七月十日家也○天和二年
八月病死也其年○其年○其年
其年八月十日病死七拾七歳九心淨也

素 隨在社江乃氏武女

後素 其林深乃直其女

宣曆十一年末年七月自家何小書信〇月日

甲戌年八月末方社任任長旅以之錫射

上夜神威相重し〇山威先錫射九月夜之夜

錫射相仕〇山和元甲申年五月十七日一後

錫射 上夜神威于八日合靈取於〇月之工四年

宣曆十一年末年〇月之西戌年二月廿六日於

右の 上夜十時所至存之度五初月之度
十時所至〇月之西戌年十月十六日於
四番。宣政八年六月十日死之年氣白

正 丹 仁 佐 馬 全 治 印

宣政七年末年十一月末方、宣政七年〇宣政四年三月
海方末方〇月八年九月〇三夜夜。天明七年九月
十月末方末方〇二〇後之夜。天明八年十月末方錫射
〇月之西戌年。宣政五年九月末方大島射也。二年十二月
月流錫射也。宣政五年九月末方

宣武百五十年名



着原姓
并方

不感冠備定十代上意字以女為憲
後胤經河原位人三階堂正建村政年
孫并方為九市正由由取

并方志摩子甚仰 為九市又 廿部

白次

母皇津氏女

妻之知

今川氏貞幕下之義切感状令之由也
 信濃原甲斐進發之由は古も信濃河原に
 諸兵開戦し、市原原に兵を聚りて是より
 古河原に備戦し、或は此に兵を聚りて是より
 及は河原原に兵を聚りて是より
 家東之國に兵を聚りて是より
 今之由物は古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より

古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より
 古河原に兵を聚りて是より

正貞
丑年三月廿二日
 遠近に之を傳ふ

病ありては之を傳ふ

正良
 井かたは是なり

母
 三浦重年次子孫女

妻 孫 氏 爲 保 定 女

唐 高 祖 唐 高 祖 年 九 月 廿 四 日 卒 年 七 十 八 歲
高 祖 崩 後 自 尊 號 元 甲 子 年 七 月 九 日 崩 死 於
柩 前 歲 五 十 四 禘 除 所 曰 通 院 三 歲

正 推

并 書 源 氏 考

母 孫 氏 爲 保 定 女

妻 孫 氏 爲 保 定 女

延 寶 七 年 乙 未 年 二 月 廿 九 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 貞 享 元 年 甲 子 年 十 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

○ 同 治 年 二 月 廿 六 日 崩 死 於 宮 中 實 年 七 十 八 歲

高 祖 崩 後 自 尊 號 元

○ 今 之 校 時 服 之 異 曰 孝 施 年 一 百 餘 歲 而 卒

麻下下二万の御後之毛御成法

正相

丹波守七郎 源后御風

母 御成法之御孫 保成女

妻 御成法之御孫 保成女

御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風
御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風
御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風
御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風

年 八月廿日 御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風

正辰

丹波守七郎 源后御風

御成法之御孫 丹波守七郎 源后御風

某

丹波守七郎 源后御風

保成

源后御風 幼少御孫

源后御風 幼少御孫 丹波守七郎 源后御風

月... 病... 子... 氏...

来

寛保元年... 功...

寛保元年... 子...

西... 病... 氏...

来

延享二年... 子...

延享二年... 子...

年十月... 病...

年十月... 病...

正壽

正壽... 子...

寛保二年... 子...

年十月... 病...

来

井...

寛保八年... 子...

元... 年... 病...

元... 年... 病...

井...

正壽

元... 年... 病...

元... 年... 病...

元... 年... 病...

昭和九年甲午年正月廿三日乙未子〇月二日酉年
二月廿日辰時申時生信〇月廿六日申年二月廿日
寅時〇日辰時辰時生信〇月廿六日申年二月廿日
〇時辰時辰時生信〇月廿六日申年二月廿日
二月廿日辰時辰時生信〇月廿六日申年二月廿日

女子四人

右記
山崎女子師範學校
田代女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校

長女

山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校

正妻

山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校
山崎女子師範學校

西永口乙未年七月廿九日寅時辰時〇辰時二

壬寅年十一月廿七日 津國見〇寛政三年
年六月廿日家多山書信。日八年四月廿九日

字名 井村権之助

長女 美水申留居長男脚親女
長子之山夫之妻

子田百左



在系姓 井村

井村源平之實分門之幕下波行也

留主欲之井村之住長男井村

依源平之字源代

在長男之助 長子

字名

廣長之自年於源河之長男作重國

正統 大正四年 十月

宣統三年七月廿七日 坊原道徳

内書 大正四年 十月 宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳

正統 大正四年 十月

宣統三年七月廿七日 坊原道徳
坊原道徳

正統 大正四年 十月

宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳

宣統三年七月廿七日 坊原道徳

正統 大正四年 十月

宣統三年七月廿七日 坊原道徳
宣統三年七月廿七日 坊原道徳

宣統三年九月廿七日

九月死六十八年甲子年遠克と村遠克との墓

手紙の人

二宮氏の子孫の墓

正敏

丹波紀伊守

西島右衛門

享保三年十一月廿七日卒 享年七十 元文元年四月廿七日卒
享保七年十二月廿七日卒 享年七十 家督の室 慶長
九年十二月廿七日卒 享年七十 初江藩校の御
慶長元年四月廿七日卒 享年七十 安永三年
三月廿七日卒 享年七十 文政元年二月廿七日卒
享保七年

西秀

并末八十年

元和二年十一月廿七日卒 享年七十 初江藩校の御
日七亥年六月廿七日卒 享年七十

西秀の墓 西島右衛門の墓

ヨシ 西島右衛門

正祥

享保三年二月廿七日卒 享年七十

明和八年十一月廿三日
御取次 御奉行 御用度 御取次
御取次 御奉行 御用度 御取次

白見 万巻

享和二年七月六日 後部御用度 出立御取次御奉行

御取次 御奉行 御用度 御取次
御取次 御奉行 御用度 御取次
御取次 御奉行 御用度 御取次
御取次 御奉行 御用度 御取次



有末姓

井出

不意幸江外乃憲法亂之治考之御符

改定法別井出御用度御奉行

御取次御奉行御用度御取次

御取次御奉行御用度御取次

御取次

御取次

御取次御奉行御用度御取次
御取次御奉行御用度御取次
御取次御奉行御用度御取次
御取次御奉行御用度御取次

享保三十二年二月廿六日山姥○同日三
申年に九月廿九日元文元年
秋後四水頂の見分を八ヶ月廿四日
今宿友○同日己年九月廿一日も死劫定
○享保三十二年九月廿六日山姥が後酒井
雅樂殿より作酒中神尾若狭と山姥
此分 將軍宣下を奉向し公家元政系
大嘗会を舟の山姥代友堂和泉寺と系有知
道中船大水舟山姥より三船成舟舟成紙

何^云云及存券の一〇二仕女右の山姥日山三
右所用仕女を七日一月山姥初御所御奉
指敷○寛文元年正月廿五日御定所
山姥○同日三舟○二月廿一日山姥國一舟徒
並今御山地方之法法吟味初勤○宝曆
二申年十月廿六日山姥山姥○同日三舟年
所凡所用兼勤○同日三舟年二月廿一日
山姥山姥○同日三舟年二月廿六日山姥山姥
山姥山姥初御所御奉

河越村の遠見。○同年十月十日罷の為

○同年十月十九日務村令致。○同六年

三月九日務村令致。○同年九月廿六日

時致。○同六年五月廿六日罷の為。○

同年十月廿六日。○同七年四月廿六日

務村令致。○同八年二月廿六日。○

同年十月廿六日。○同九年四月廿六日

四月廿六日。○同十年四月廿六日

十月廿六日。○同十一年四月廿六日

四月廿六日。○同十二年四月廿六日

四月廿六日。○同十三年四月廿六日

十月廿六日。○同十四年四月廿六日

村令致。○同十五年四月廿六日

三月廿六日。○同十六年四月廿六日

四月廿六日。○同十七年四月廿六日

○同年七月廿六日。○同年九月廿六日

務村令致。○同年十月廿六日。○同十八年

村令致。○同十九年四月廿六日。○同二十年

天明二箇年二月九日中里のり
天明三箇年二月九日中里のり
天明四箇年二月九日中里のり
天明五箇年二月九日中里のり
天明六箇年二月九日中里のり
天明七箇年二月九日中里のり
天明八箇年二月九日中里のり
天明九箇年二月九日中里のり
天明十箇年二月九日中里のり
天明十一箇年二月九日中里のり
天明十二箇年二月九日中里のり
天明十三箇年二月九日中里のり
天明十四箇年二月九日中里のり
天明十五箇年二月九日中里のり
天明十六箇年二月九日中里のり
天明十七箇年二月九日中里のり
天明十八箇年二月九日中里のり
天明十九箇年二月九日中里のり
天明二十箇年二月九日中里のり

天明新規



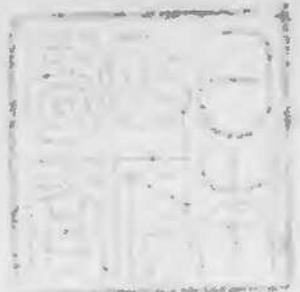
源氏
家波

清和天皇の御時
信伊守自宗系
代若狭村長門正保之男

定章

沖古馬

元久五年同月廿八日
五在儀の定章二年七月



此書係日本正一二月十日
之教日十年二月十日
六日在在在在在在在在
之在在在在在在在在在在



Faint, illegible text or bleed-through from the reverse side of the page, appearing as light grey markings.

